



第13号

「めぐみちゃんのまちづくりだより」

～ 市民と農家の宝もの けやきの里のめぐみです ～

西東京市では、農業者と市民が相互理解を深め、都市の農業・農地が持つ多面的な機能を発揮させることにより、農地の保全を図っていくことを目的に、「都市と農業が共生するまちづくり事業」を進めています。西東京市は都内でも有数の苗木の生産地で、この特徴を活かした市民と植木事業者の皆さんがふれあうイベントを平成24年度より行っています。11月23日（土）に南町で農業を営む小林孝一氏の敷地をお借りして『平成25年度第2回緑のアカデミー』を開催しました。

事業の
ねらい

緑のアカデミーは、都内有数の苗木の生産地であることを「緑のアカデミー」をとおして情報発信し、市民が植木職人の技と緑にふれあいます。

事業の
効果

緑のアカデミーでは、市民が市内産の苗木と職人の技にふれ、理解を深めます。

「樹木ふれあい散策」

今回の緑のアカデミーでは、田無駅南部エリア内に設置した樹木プレート51箇所の内、緑のアカデミー会場周辺にある5箇所の樹木プレートを設置した圃場等を巡る「樹木ふれあい散策」を行いました。

「樹木ふれあい散策」では、5～9番の樹木プレートを2グループに分かれて、市職員が各圃場や樹木プレートについて案内しながら、約25分かけて散策を楽しみました。参加者の方からは、「この近所はよく通るが、ふだん気がつかなかった圃場や樹木プレートを見つけれられて嬉しい」などの感想をいただきました。

A4サイズのマップと樹木プレートの写真です。

2班に分かれて、散策へ出発します。

生垣の奥にオリーブの苗木が見えました。

ヒラギの花がカワイイと人気でした。

4月に白い花を咲かせるヒラギは、毎年春に剪定しています。秋はシモンゴキの香りでハロウィンになります。

11月はバラが楽しめます。

ケヤキの樹形が青空によく映えています。

立派な門かぶりに見とれてしまいます。

植木のまち歩き
イヌツグを種から育てています。生垣によく利用され、昔は東京の植木の代表格でした。

植木のまち歩き
サクランボ、バラ、アジサイ、コスモスで圃場を囲んでいます。四季折々の花が楽しめます。

植木のまち歩き
ケヤキやシラカシを育てています。30センチ前後にもあるのに、香りを楽しんでください。

「樹木プレート」



樹木プレートは、「植木のまち歩き」と題して、植木職人さんのイラストが描かれたデザインで、設置協力農家の方一人一人に聞き取り調査を行い作成しました。圃場で生産している苗木の特徴や季節毎の苗木の様子、栽培へのこだわり等、プレートごとに異なる内容です。市内の75箇所に設置されています。まち歩きをしながら探してみてください。